

カラフル

2023. 07 No. 04

新書を読もう旬間はじまる

今月の読解カトレーニングの時間では『新書』に親しんでみませんか？

新書ってどんな本？

「本」には様々な大きさがあります。「新書」は、103mm × 182mm が一般的なサイズです。

内容としては主に社会の関心事や教養、専門分野を解説した本になっています。代表的なものに岩波新書や新潮新書があります。



ひとつのテーマに対して様々な視点から考察した内容となっているので小論文や論文作成をするときのヒントになります。

「いつ」「どこで」読む本？

いつでも、どこでも読んでください。

寝る前に読むのも、電車の中で読むのもアリ！

コンパクトで持ち運びしやすいサイズとなっています。片手でも読みやすい軽さなのもいいですね。



持ち歩けるサイズなので、すきま時間に読むことができます。
いろんなテーマの本があるから、気分でも選ぶこともできます。

約
182
mm

約 103mm



進路別★読んでおきたい新書をPICK UP！



◇人文系・・・研究対象は文学、語学、文化、そして人間そのもの。



知の体力 / 永田 和宏著（新潮新書）

「答えは必ずある」などと思っていけない。細胞生物学者にして日本を代表する歌人でもある著者が、これから学ぶ人、一生学び続けたい人たちにに向けて、自力で生きぬくための本物の「知」の鍛錬法を説く。

◇法学系・・・法と政治の視点から現代社会の仕組みを探る。



多数決を疑う-社会的選択理論とは何か- / 坂井 豊貴著（岩波新書）

選挙制度の欠陥と綻びが露呈する現在の日本。多数決は本当に国民の意思を反映しているのか？社会的選択理論の視点から、人びとの意思をよりよく集約できる選び方のルールをさぐる。

◇教育系・・・教育の本質や目的を学び、教員を養成する。



先生はえらい / 内田 樹著（ちくまプリマー新書）

「先生はえらい」のです。たとえ何ひとつ教えてくれなくても。「えらい」と思いさえすれば学びの道はひらかれる。だれもが幸福になれる、常識やぶりの教育論。

◇経済系・・・経済の動きを分析し、現代社会に応用する。



生活保護 VS ワーキングプア-若者に広がる貧困 / 大山 典宏著

(PHP 新書)

「生活保護年収 400 万円相当(4 人世帯)>ワーキングプア」という衝撃の事実からあぶり出される真実とは？ 3500 件以上の相談に応じてきた専門家が、生活保護の現場から格差是正の処方箋を示す。

◇**社会学系**・・・研究対象は、法律・政治・経済など社会生活に欠かせない

全ての社会現象。



正義を振りかざす「極端な人」の正体 / 山口 真一著（光文新書）

SNS での誹謗中傷、自粛警察、悪質クレマー…。奴らは何者か？「炎上はマスメディアが生み出す」「SNS は世論を反映しない」など、データ分析から導き出された意外な真実を伝え、悲惨な出来事を減らす方を提言する。

◇**国際系**・・・現実社会の動向を国際的な視野から捉える。



ことばと思考 / 今井 むつみ著（岩波新書）

異なる言語を話す日本人と外国人では、認識や思考のあり方は異なるのだろうか。「前・後・左・右」のない言語の位置表現など、調査・実験の成果を紹介しながら認知心理学の立場から明らかにする。

◇**学際系**・・・社会学科全般にわたる幅広い分野が研究対象。



スマホ脳 / アンデシュ・ハンセン著 久山 葉子訳（新潮新書）

睡眠障害、うつ、記憶力や集中力、学力の低下、依存…。スウェーデンで注目されるメンタルヘルスのインフルエンサーが、スマホや iPad が人間、特に子供や若者に与える影響を最新研究をもとに明らかにする。

◇**福祉系**・・・社会系の学部。社会の構造や人間生活のあり方を追究する。



持続可能な福祉社会―「もうひとつの日本」の構造― / 広井 良典著（ちくま新書）

「人生前半の社会保障」という新たなコンセプトとともに社会保障・教育改革の具体的道筋を示し、環境制約との調和、コミュニティの再生を含みこんだ、「持続可能な福祉社会」像をトータルかつ大胆に提示する。

◇**医療系**・・・チーム医療を支える医療専門職を育成する。



持続可能な医療-超高齢化時代の科学・公共性・死生観- / 広井 良典著（ちくま新書）

高齢化の急速な進展の中で、日本の医療費はすでに年間四十数兆円を超え、さらに着実に増加している。「破綻」は回避できるのか？ 持続可能な医療そして社会を構想するための思想と道筋を、明快かつトータルに示す。

◇**理系**・・・さまざまな切り口から自然現象の真理を解明する。



生物はなぜ死ぬのか / 小林 武彦著（講談社新書）

生命の死には重要な意味がある。遺伝子に組み込まれた「死のプログラム」とは-。根源的な疑問である「そもそもなんで生き物は死ぬのか」について、生物学的視点から考察する。

◇**情報・メディア系**・・・情報化が社会に与える影響を科学的手法で分析する。



メディアと日本人 / 橋元 良明著（岩波新書）

読書離れ、テレビ離れは本当？ ネットが若者に与える影響は？ 日本人がメディアをどのように受容し、利用しているのかを実証的に検討し、メディア界の構造転換を明らかにする。

今回、紹介したのは新書のほんの一部です。

自分の進路や興味のある分野で選んでもいいし、タイトルや作者で選んでもいい。

本を開いてみて「なんか違うな」と思ったら読む本を変えてもいいと思います。

みなさんが心に響く1冊と出会えることを応援しています。



借りる本に迷ったら、ぜひまほら館カウンターまで！

